

加賀中だより



発行所
加賀中学校
発行年月日
令和4年
6月15日

「Update yourself」〜踏み出そう 新たな一歩〜

校長 大場 めぐみ

6月4日(土)、高く晴れ渡った空の下、またとない好天に恵まれ、「笑輝祭」体育の部」を開催しました。今年度は、保護者の皆様をお迎えし、生徒たち全員が観覧できる「笑輝祭」を開催することができ、心から嬉しく思います。保護者の皆様には、感染症対策のため、観覧の人数制限や観覧の仕方についてご協力いただき、感謝申し上げます。また、PTA総務部の方には、駐車場整理のご協力をいただきました。重ねて、お礼申し上げます。

今年度の笑輝祭のローガンは「Update yourself」〜踏み出そう 新たな一歩〜でした。6月1日(水)の予行で確認された改善点が、見事にUpdateされ、はつらつとした意気込みが充分に伝わってきました。予行の日には、体育委員長が全校生徒に向けて、ラジオ体操の改善点を模範を示しながら、呼びかけました。開会式の生徒会長のあいさつからも、生徒自身でよりよい笑輝祭にしていこうとする心意気を感じられ、頼もしく感じました。開会式での堂々とした選手宣誓、演技として魅せる「ラジオ体操」、そして、3年生のオープンダンス。短い期間で互いに教え合いながら、昼休みや放課後、中庭や教室で練習を繰り返していました。1年生は玉入れ「PONPON PON」で、ペアで取り組みながらたすきをつなぎました。2年生は障害物競走「天国と地獄NON」で、ペアで取り組みながらたすきをつなぎました。3年生はシヨート綱引きにボールの争奪戦が加わった「チャンスはいつも側に」で、チーム一丸となって戦いました。綱引きの迫力のある攻防とボール争奪の動きは見ていて、思わず力が入りました。学年対抗リレーは、学年があがるごとに迫力を増す力強い走りに、3年間の成長を感じました。今年度は、1年生の学年対抗リレーに教職員も参加しました。教職員は走力に応じて距離を変え、アンカーの私のところまでバトンをつなぎました。ふと、全力で走ってバトンをつないでいく生徒や教職員に感謝の思いが心に浮かび、引き継いでいくこと、Updateしていくこと、加賀中のバトンを次に渡していくために日々を大事にしていきたいと思いました。

卒業した3年生から引き継いだ「温かい応援」や「何位でも頑張りを持って盛り上げる姿」は、3年生を中心にさまざまな場面で見られ、確かな伝統の引き継ぎを感じました。そして、体育が得意な生徒もそうでない生徒も意欲的に取り組める競技の工夫に、加賀中のUpdateをお見せできたのではないかと感じています。開会式のあいさつで私が話したとおり、たくさんの方の一生懸命が輝く中で、お互いの頑張りを読んで、優しい笑顔があふれる笑輝祭になりました。まさしく、すべての人が優しく笑う「優笑」で、幕を閉じました。

生徒たちは、どんな状況でも「新たな一歩を踏み出そう」と輝いていることを実感した笑輝祭でした。私たち大人も新しい時代の中で頑張るしながら、生徒たちの輝きがいっそう増すことを願って、今後も生徒たちを応援していきます。

保護者の皆様、温かい応援ありがとうございます。

笑輝祭



【1年生学年種目：PONIPON!!PON!!!】



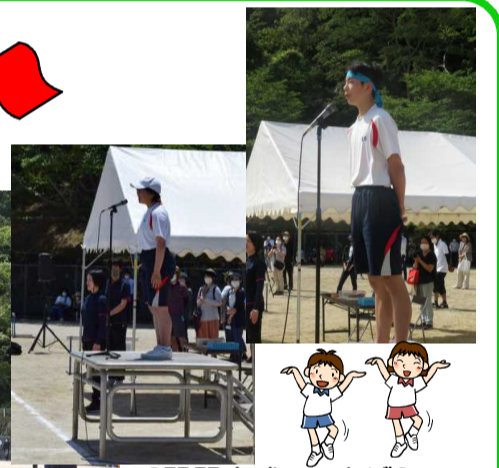
【各色ブロック代表選手宣誓】



【2年生学年種目
天国と地獄2022】



【3年生学年種目
チャンスはいつも側に】



【開閉会式のことば】
生徒会長、副会長が堂々とあいさつしました。

生徒総会5/24
生徒総会はリモート開催で、生徒会執行部・専門委員長の発表を聞きました。



備前東地区大会

来る6月18日・19日に夏季地区総体が予定されています。3年生にとっては、最後の地区の大会になります。どの部活もより一層気合いを入れて取り組んでいます。

コロナ禍で、いくつか制限がある中での開催ではありましたが、お互いに気をつけながら精一杯応援し、笑輝祭(体育の部)盛り上げることができました。

